

特集：エパレクのご紹介

【はじめに：エパレクとは何か？】

エパレクの正式名称は「環境汚染等から呼吸器病患者を守る会」といいます。2003年3月に設立され、今年10周年を迎えました。現在、会員数約300人で活動しております。

エパレク (EPAREC) のEはExpert、つまり「熟練した人、エキスパート」を意味します。PAはPatient、つまり「患者」という意味です。「根気よく、気長に」という意味もあります。REはRespiratoryを代表し「呼吸器の、呼吸のための」という意味です。CのCareは「介護・療養、世話、保護」という意味で、それぞれの頭文字をとると「EPAREC、エパレク」になります。つまり、これは、当会の活動として最も重要視している患者学習会のあり方を示しています。つまり、呼吸器疾患の療養・管理 (Respiratory Care) 等に理解を深めた熟練患者 (Expert patient) が同じ呼吸器疾患患者を支援するという目標を示しています。

【患者教育をとりまく現状】:

大規模調査によると患者は医師からの教育を強く要望すると言結果が出ていますが、今でも医師の患診察時間は1人10分、時に5分以下です。つまり、主治医と会える時間は月1回10分として年間で10分×12回=120分にしか過ぎません。しかも患者教育は、医療の中では、むしろ回避されて来た経緯があり「治療がうまくいかないのは患者の責任」という風潮が長く続きました。患者さんが治療を理解せずに治療を中断しても、長年、医療は、それに対し責任を負わないという体制が続いています。実際、医療も、それを実行する時間的、経済的余裕がないのが現状です。

【誰が患者さんへの教育を担うべきか】:

医師に教育して欲しいと言要望は多いのです

が、実際に医師は時間的に大きな制限を受けています。一つの工夫として「疾患の情報提供」と言う点に問題を絞れば、医師のみでなく「一般市民」でも、効率良く説明が出来ると言われていています。むしろ忙しい医師より「説明が理解しやすい」という意見もあります。

今までも、教育や説明等、患者さんに対する情報提供者は医師のみならず、多くの関係者も参加しようという考えがあります。例えば情報を伝える事が出来る人達を列挙しても、(1) 医療関係者：医師 (専門医、非専門医、産業医)、保健師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、呼吸療法士など (2) 非医療関係者：学校教育関係者、職場管理者、喘息ベテラン患者、喘息患者による団体組織、一般市民ボランティアなど (3) その他：製薬会社、保険会社、厚生労働省、医師会、看護師会、薬剤師会、報道出版関係者などがあり、それぞれが、それぞれの立場から教育しても、それなりに役立つと考えられています。

なお情報提供のあり方についても医療関係者、非医療関係者それぞれに特徴があります。

医療関係者 (特に医者) の場合、(1) 知識が多すぎる (2) 実証済みの事実を教えがち (3) 広く応用できる知識 (4) 伝授したい知識が多すぎる (5) 盛りだくさんで聞き手が混乱すると言われていています。

その一方で、一般市民の場合は (1) 限られた事しか知らない (2) 経験に基づいた教育が中心となる (3) 応用範囲は狭い (4) 理解しやすい (5) 聞き手が共感するといわれております。それぞれの立場で、それぞれの特徴を生かした患者教育、情報の伝達の方法を柔軟な気持ちで、工夫すれば、それは、よりよい医療につながる可能性があります。

【諸外国での患者教育】: 諸外国では呼吸器病の患者さん方が自己管理に必要な知識は「医師だけではな

健康未来、
創ります



日本新薬
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

私たちは、医療の発展と人々の健康づくりにシステムとバイオで貢献し、豊かな健康文化を創造します。



バイオ&医療情報システム企業—
株式会社ビー・エム・エル

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
TEL.03-3350-0111 (代表) FAX.03-3350-1180
BML総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市越の場1361-1
TEL.049-232-3131 (代表) FAX.049-232-3132
http://www.bml.jp/

小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2012 | 推奨機種!



■ 静電気が発生しにくいアルミニウム製
■ 特殊なアタパーにより気流が発生

VORTEX
Non Electrostatic Holding Chamber
ボアテックス

国内初 静電気が発生しにくい金属製スプレー

パリ・ジャパン株式会社
パル・ショップ www.pari508159.com
〒562-0012 大阪府茨田市白島2-25-24 安井ビル101号 TEL.072-737-7800

く多くの人たちから」発信されています。

(1) 米国の場合：Asthma Educator という資格があり、医師のみでなく、看護師、保健師、薬剤師、臨床検査技師、呼吸療法士などからも情報を発信しており、製薬会社、保険会社、保健社会福祉省、医師会薬剤師会、報道出版関係者が経済的にこれを援助しています。国や地域の取り組みとしては継続性のある教育プログラム、時間外・夜間診療システムの構築、学校側の協力を得た「アクション・プラン」の共有、アレルゲン暴露、運動誘発喘息における運動誘発の回避などの実績を挙げています。

(2) 英国の場合：Asthma UK, NARTC などの慈善団体が患者への情報提供、パンフレットの発行、講演会やイベントの開催、電話相談、情報の検証などを通じて患者さん方の自己管理の支援をしています。

英国には喘息熟練患者を患者教育に起用するプログラムがあります。この英国の熟練患者制度がエパレク設立の大きなきっかけとなっております。

【エパレクって何をしている会？】：

EPAREC の一定の教育により知識を持った熟練患者（EP）が、経験の浅い初心（初診）患者を支援・教育するシステムを導入しています。医療の中で、既にコンセンサスを得ている実際的な治療や管理方法を患者・患者家族にも効率良く伝える仕組みを目指します。

【EP の存在】：医療側（医師・コメディカル）と患者側の中間的な立場に立つ事によって両者のコミュニケーションがより円滑に進むことを期待します。

【エパレクの活動】：慢性呼吸器疾患の発症と増悪を防ぐためには、どうしたら良いかと言う事を EPAREC の熟練患者さんたちが、工夫をしています。自分たちの目線を通して一番、必要な知識を分かり易く説明する事で、より良く普及できればと活動しています。主な活動をお示しします。

【1】熟練患者育成：自分たちの自己管理能力を高めるために学習会を行っています。

E P 雑 感

【新 EP の皆様に贈る言葉】

新 EP の皆様へ：今年エパレクは 10 周年を迎えました。昨年の試験に合格して新 EP になられた方を合計するとこの 10 年で EP の数は 50 名を超えました。私は学習会で、主に”はじめてクラス”を担当しています。

はじめて学習会に参加すると必ず通過するクラスです。初参加の方の中には、未だ自己管理の方法を知らずに、ぜん息発作に苦しんで、泣き出しそうな方も沢山います。その方々が自己管理の方法を習得して、だんだん元気になって行く様子を見てると嬉しくなります。

新 EP の皆様も EP 試験を受験する際に【受験意思の確認】として、試験をただ受けていただくだけでなく、今後 EP として一緒に活動していただけるお気持ちがあることを確認させていただきましたが覚えていてますでしょうか。

EP の皆様は”自己管理ができ、発作を起さないように自己管理に熟達した”と認められたわけですが、これはゴールではなく、次の役目があります。

それは「自己管理に熟達していない方の目標になっていただく」ことです。活躍の場は学習会のみならず、各地区での講演会や、会員製薬会社の主催する講演会などで、ぜん息患者として体験談を話していただくなど、活躍の場は、様々です。その際は”私は立派な(?)ぜん息患者”と恥ずかしがらずに、ご自身のことを話していただきたいと思います。未だ自信が持てなくて、心配しておられる方でも、そのお話を聞いて、勇気ももらって、自己管理を学んでいただければ、また一人、もしくは何人もの人たちが、健常人と同じ暮らしを手に入れることができるのではないかと思います。

願いをこめた新薬を
世界のあなたに
届けたい。



小野薬品工業株式会社
1941 年創設 大塚市中央区大塚 1-1-1 百穂ビル2F

ひとつひとつの命を救いたい。
ひとりひとりの健康にもっと貢献したい。

私たち MSD は、世界 140 カ国以上で、
医療用医薬品、ワクチンなど、
革新的なヘルスケア・ソリューションを
提供しています。




キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、
人々の健康に貢献します。
健康はキョーリンの願いです。

Kyorin 

キョーリン製薬グループ

キョーリン製薬ホールディングス | キョーリン製薬 | キョーリンリメディオ
ドクタープログラム | キョーリンメディカルサプライ
www.kyorin-gr.co.jp

1月一回、第2土曜日：学習会、ミニ勉強会

2年一回：熟練患者認定試験

3エパレク通信：自宅学習者のための情報

4アレルギー学会、市民講座などへの積極的な参加

【2】一般市民への情報提供：学習会に来られない方にも情報をお届けする努力をしています。1. 機関誌：エパレク通信の一般市民への配布、2. 市民への啓発：公開講演会、セミナー、3. 禁煙推進活動、禁煙教室：高校や企業での講演会、4. ホームページによる広報活動と相談、5. 専門医の紹介、6. 公的支援制度の紹介、7. 最新情報、患者情報の収集と周知、8. 患者支援：患者教育の実践テキストの作成。特にホームページには、「アレルギー遠隔学園」があり自分の興味ある講義を受講できます。また、必要に応じて個別の相談にも乗ります。

【3】他団体との連携：少しでも良い医療の実現を目指して患者と医療者のパートナーシップを構築する事の重要性を認識しています。医師とのコミュニケーション技術支援、各患者団体との共同活動、海外の医療機関、活動団体との情報交換、施設見学研修、海外のぜんそく支援団体のリーダーを招いて特別セミナーを随時開催しています。

【4】研究・調査：身近な事を研究・調査し発表します。例) ダニ除去剤の有効性調査、患者アンケート調査、アドヒアランスを調べる問診票の開発、患者指導についての調査報告等を行なって来ました。

【5】学習会活動：毎月第2土曜日に学習会を行っています(1月、8月はお休み)

【A】学習会の特徴：学習会は、ミニ講演会とグループ学習の2部制で構成されております。講演だけでは同時に多くの方に情報を提供できる一方、記憶に残りにくく、専門家が話す内容は一般論になりがちで、直接、実際の自己管理に役立つとは限りません。そこで質疑応答を重視しつつ、知りたいことを中心に話し合い、患者さん同士の経験を共有することで教科書では表現できないニュアンスも伝えら

れることを重視しグループ学習の時間を設けています。

【a】ミニ講演会：原則、基調講演、周辺知識の2テーマについて、各15分で講演を行っております。

基調講演：喘息・COPD等慢性呼吸器疾患に関する情報の提供をしております。**周辺知識：**幅広くアレルギーに関すること自己管理に役立つ情報の提供

【b】グループ学習：はじめてクラス、基礎クラス、中級クラス、上級クラスの4クラスがあります。それぞれのクラスでテーマに基づきグループ学習を行っております。

なお、学習会において提供している全ての情報は医療関係者が、監修し最終責任は医療関係者が負うこととなっています。

・はじめてクラス：はじめてクラスは、最近診断を受けた新しい患者が情報を得たり、心配事を相談したりするのに適しています。初めて参加するクラスなので最初にEPとは何かから説明します。自らの病気の記録である「日誌」を使って自己管理をする大切さ、ピークフローメーターを手入れして精度を保つ方法、クスリの飲み忘れた時の対応など知っておくと良いことをアドバイスします。続いて1時間程度、参加者の自己紹介ならびに最近の症状、ピークフロー値、服薬中のクスリ等について話してもらってそれぞれの方の知識を確認しながら、疑問点や治療上の悩みに対してアドバイスをします。

・基礎クラスについて：このクラスは初めてクラスを2~3回出席した方が次に進むクラスです。基礎クラスでは、ピークフローメーターや喘息日記の使い方などの基本的な自己管理の学習、さらに吸入ステロイドや気管支拡張薬などの基本的な薬剤について学びます。このクラスのカリキュラムは、半年で一通りのことが学べるように作られています。その後、出席者の自己紹介や質疑応答は、はじめてクラスと同じように進めます。

・中級クラスについて：中級クラスは、基礎クラス

株式会社イービーエムズ

・医薬品等の臨床研究を通じて科学的根拠に基づく医療に貢献していきます。

お問合せ先：03-5777-1002

URL：<http://www.ebms.co.jp/>

EBMs

Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

 大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田町2-9

これからの地域医療を担う
新しい調剤薬局を


Pharmarise
HOLDINGS

ファーマライズホールディングスは、
地域医療の担い手となることを目指して、
グループ丸となって
全国各地で邁進しています。


ファーマライズホールディングス株式会社
<http://www.pharmarise.com/>

を一通り(5~6回程度)出席した方が、次のステップとして進むクラスです。このクラスでは、基本的な自己管理の範囲を超えて、ガイドラインに示されているさまざまな内容を詳しく学びます。1年間を通じてテーマが決っており、それにそって担当EPが資料の解説をします。その後、出席者の自己紹介や質疑応答は基礎クラスと同じように進めますEP試験の3か月ほど前から、中級クラスの特別クラスとして、EP受験クラスを開きます。

・上級クラスについて：詳しい知識や周辺知識を学ぶために、担当EPが新しいテーマに沿った資料を配布し解説します。テーマは喘息治療に関連することで、例えば、「環境改善について」「好酸球の働き」「骨粗しょう症」などです。説明に続き質疑応答を行います。参加者から多くの質問や意見が出されます。その後、出席者の自己紹介や質疑応答は基礎クラスと同じように進めます。

【B】 熟練患者認定制度

エパレクでは、2004年6月から認定制度を試験的に開始しました。認定試験は年に1回程度実施。今後、更に知識レベルの高い、指導的立場の患者認定を検討しています。2013年1月現在、58人の方を熟練患者として認定しております。

【a】 熟練患者になると何が出来るのか

喘息等の呼吸器疾患に対して自己管理に必要な基本的な知識を持つ事ができる。

【b】 熟練患者とは?：健康な人と同等の生活を送るために自分の重症度をよく理解し、主治医の指導のもとで日々の変化に対応して適切な自己管理を行うことができ知識と能力を有する者、具体的には：

- (1) 喘息治療のガイドラインに沿った基本的な知識を持ち、これを毎日の管理の中で、実践で応用できる事
- (2) 薬、検査、治療法等に関する患者としての知識を持ち、これを毎日の管理の中で判断できるようになる事

学習会で寄せられた質問と回答

Q：逆流性食道炎について教えてください。

A：食べ物を食道から、胃に送った後、逆流を防ぐための仕組みを持っていますが逆流を防げなかった場合は胃酸が食道まであがってきます。食道へ逆流した胃酸の酸度が強く、また、その回数が多いと、食道の粘膜は、ただれてしまうので、それが症状として感じられます。症状は「胸焼け」「呑酸」「しつこい空咳」などがあります。「空咳」は咳喘息や他の呼吸器疾患の咳と間違えやすいので注意が必要です。

検査：Fスケール問診票という簡単な問診票でおおよその見当をつけることが出来ます。耳鼻科でものどが、赤くなっている事がヒントになる事があります。残念ながら、胃の内視鏡検査では、診断がつかない事があります。

予防法：食事では、脂っこいもの、甘いもの、刺激の強いものは控えめにします。その他、以下の事に気をつけます：

- ・腹8分目を心掛ける
- ・食べた後、直ぐに横にならない
- ・ベルトや下着で身体を締め付けない
- ・就寝中は、おなかから上を高くする
- ・姿勢を正し、前屈みにならないようにする。

治療法：プロトンポンプインヒビター(PPI)という胃酸を抑える薬を使います。また、胃粘膜を保護したり、消化管の動きを調整したりする薬を補助的に用いることもあります。また、逆流性食道炎は、再発しやすい病気なので、医師の指示に基づいて、治療を継続することが大切です。

その他：喘息薬治療薬のうち経口ステロイド、テオフィリンなどは、逆流性食道炎を悪化させます。血圧の薬の中にも筋肉の緊張を取る薬は(カルシウム拮抗薬)は、逆流を助長するといわれています。

主婦会館
プラザエフ
-生涯を通じた女性の健康のために-
主婦会館クリニック
東京都千代田区六番町15番地
Tel:03-3265-8110
<http://plaza-f.or.jp>
医師：堀口貞夫 堀口雅子
※完全予約制：診療時間内にお電話下さい

今日の治療薬
解説と便覧 **2013**
今日の治療薬
2013
編集 浦部 晶夫
島田 和幸
川合 真一
B6判 1,376頁
定価 4,830円(税込)
ISBN978-4-524-26891-7
薬効群ごとに解説と便覧で構成したベストセラー
nkj 南江堂《営業》TEL 03-3811-7239

gsk GlaxoSmithKline
生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer
私たちは、世界中の人々がより充実して心身ともに健康で長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。
グラクソ・スミスクライン株式会社
<http://glaxosmithkline.co.jp>

【c】熟練患者認定の仕組み：エパレクは、以下の仕組みで熟練患者の認定を行っています（概要）。

1. 熟練患者認定試験受験資格の取得：学習会において1年程度学習し、主治医もしくは先輩の推薦をもって受験資格の取得とします。

2. 熟練患者認定試験（毎年9月）：熟練患者として十分な知識があるかを確認します。なお、毎年、6月から特別クラスにて、模擬試験を解きながら、学習を進めます。

3. 熟練患者認定試験合格：25問中、75%以上が合格となります。

・熟練患者認定：合格した患者について理事会にて「熟練患者,EP=Expert patient」に認定します。

【d】熟練患者認定の目的：参加して下さった方の目的は様々かもしれませんが、今迄、参加して下さった方のご意見を伺うと下記の様な意見、印象が多数を占めました：つまり、1. 自己管理に必要な基本的な知識の確認 2. 自己管理に対する自信につなげる 3. ボランティア意識の動機付け（相談支援活動の裏付け） 4. 重症度の確認 5. 知識不足の自覚 6. 学習の目標を持つ 7. 学習意欲の向上、8. 知識の確実化（能動的学習） 9. 疫学、病態など直接自己管理と結びつかない事項への興味 10. 遊びの要素。最後の遊びと言う要素も大事に考えています。つまり、是非、楽しんでいただきたい、「ENJOYしながら学習していただきたい」と思っています。

【e】熟練患者認定問題の内容（例）

どれも基本的な事ばかりです。知っていると役立つものを中心に検討しています。

1. 疫学・統計：喘息患者数、喘息死の実態、喘息の自覚、海外との比較、
2. 病態と生理：気道の状態、喘息の発生機構、
3. 治療薬：コントローラー／レリーバーの代表的薬剤、目的／効果、
4. 検査：アレルギー検査、呼吸機能検査
5. 生活管理：ピークフローの測定、喘息日誌、アクションプラン、
6. 誘発因子：アレルギー、ストレス、運動誘発とその回

避方法などです。

【f】認定された熟練患者の義務。義務と言うと大げさですが、折角、勉強した事を、忘れないための工夫と言って良いでしょう。まずは、1. 最新の治療方法、薬等の喘息に関する情報を積極的に入手、2. さらに喘息治療と自己管理に関する知識の吸収に努める。3. 強制ではないが初心患者の相談支援活動（*）の主たる会員として期待される。4. （*）適切な自己管理をできるように初心患者の手助けをする援助活動等です。EPになり、他の方の相談に乗っていると、自分の記憶が刷新され、自分の治療や管理も忘れなくなると言います。

【エパレク：将来の展望と期待】

これからも、皆様のお力添えで、さらにこのような会が、多くの皆様の支援に役立てれば良いと思っています。喘息などの呼吸器疾患で、病院を受診して、正しい治療を受けていても、もう少し治療の事や自己管理の事を説明してもらえたら、良いと思う事はありませんでしたか？先生も忙しそうだし、これ以上、お話を伺っていると、次の患者さんを待たせてしまうし、また、この次に伺って見ようかと、諦めて質問せずに、診察室を後にした事はありませんか？このような事は日常の診療の中では、良くある事ではないかと思えます。

このような経験から入会される方が多いのですが、エパレクでは、長い目では、様々な効果を生む可能性があります。我々も大きな目標として以下の事を考えています。1. 呼吸器病患者同士の連帯によって患者が自己管理技術を身につける事が目標 2. 日本の喘息死が年間2000人以下、できれば限りなく“ゼロ”になる事。3. 患者と家族のQOLの向上。4. 禁煙の推進によりCOPDの発症を抑制する 5. 将来は小児科、耳鼻科、皮膚科などのアレルギーを中心とした慢性疾患にも対応できる会に成長したい 6. 他の患者会やコメディカルの団体等とも協力して質の良い指導に努めていきたい。その他、もっと



“健康”という名の
“しあわせ”を守りたい

鳥居薬品株式会社
〒103-8439 東京都中央区日本橋本町 3-4-1
<http://www.torii.co.jp>



TEIJIN
Health Chemicals Health Solutions

一人ひとりの
Quality of Lifeの向上。
それが帝人ファーマの使命です。

帝人ファーマは医薬品と医療品の両分野から
医療に貢献できるトータルヘルスクアを
提供してまいります。
帝人ファーマ株式会社
〒100-8585 東京都千代田区有明1-2-1(霞が根コモンゲート西側) <http://www.teijin-pharma.co.jp/>



Best Answer in Diabetes Care
患者さん一人ひとりに最適な糖尿病治療を。

武田薬品工業株式会社

沢山の事が出来れば良いと思っています。

【自分たちの手で作り上げるエパレク】：エパレクに入会して喘息や COPD の自己管理を身に付けませんか？エパレクでは禁煙啓発活動もしています。各種セミナーを開いています。喘息や COPD の学習会を開いています。ホームページなどで相談事業をしています。喘息治療のパンフレットを作成しています。その他、皆様のご協力の下、幅広く活動を行っていききたいと思います。実現するのは会員の皆様の意欲と決断です。自分のやりたかった事を是非、この会で実現してみませんか？

皆様の積極的な御参加をお待ちしています。

※この記事は、新年特別講演 2012 灰田美知子理事 長挨拶を元にまとめております。

【学習会のご案内】：エパレクでは、毎月 1 回（原則第 2 土曜日；1 月・8 月はお休み）ぜんそくや COPD などについての学習会をしています。

ミニ講演会では、毎回 2 つのテーマについて専門家の講義があり、グループ学習も行っております。

初めて病気と診断されて不安な時、病気のこともっと知りたい時、処方された薬について気になる時など、お気軽にご参加ください。病気と上手に付き合うことができるようになった先輩患者 (EP) や、薬剤師などの専門家とテーブルを囲んで一緒に勉強してみませんか。分かりやすいテキストや薬の一覧表などもご用意しております。

事前予約は不要ですので、お気軽にご来場下さい。

詳しくは、エパレクホームページ (<http://www.eparec.org/>) をご覧になるか、エパレク事務局 (TEL:03-6272-9413 FAX:03-6272-9414) までお問い合わせ下さい。

参加費：会員 500 円；非会員 1000 円

今月のチャレンジクイズ

[1]. 治療目標に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- A) 喘息と診断された人でもそうでない人と同じように日常生活ができるのが治療目標である。
- B) 適切な治療をしていても夜中に息苦しくなることがあるのは仕方がない。
- C) 喘息の治療薬は使用法が特殊であり、多少の副作用が出るのは仕方がないので我慢する。

[2]. 喘息発作に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- A) 気道の過敏性が亢進すると少しの刺激（発作を引き起こす原因）でも発作を起こしやすくなる。
- B) 根本の原因は気道の炎症である。
- C) 治療を短期間行うだけでも、完治する。

[3]. 吸入薬の説明で誤っているものはどれか。

- A) 局所で作用するため、一般的に少ない量で効果が出る。
- B) 内服の薬剤よりも副作用が出やすい。
- C) 正しい器具の操作ができないと十分な効果が得られないことがある。

[4]. アクションプランにおいて、ピークフローがイエローゾーンにあるとき、取るべき対処に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- A) 前もって医師と取り決めておいた薬を使う。
- B) 前もって医師と取り決めておいた薬を使い、すぐに医療機関を受診する。
- C) 自己判断で薬を増量する。

※今回のチャレンジクイズは、2012 年 EP 試験問題を基に作成しました。



Global
世界の最先端技術をもとに日本でも
医薬品開発に努め実績を築いていきます。
医療の「A」から「Z」まで。AstraZeneca
アストラゼネカ株式会社

未来を元気にする、医療を。



医療機器 AED (自動体外式心臓除動器)
在宅医療
医療機器専門メーカー
フクダ電子
本社 / 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4
お客様窓口 ☎ (03) 5802-6600
受付時間 月～金曜日 (祝祭日、休日を除く) 9:00～18:00



Working together for a healthier world™
より健康な世界の実現のために
ファイザー株式会社 www.pfizer.co.jp